





研究実践校の取組紹介

会津美里町立  
新鶴小学校

「豊かな心を持ち、共に考え、よりよく生きる力を育てる道徳教育」

文部科学省より児童生徒の心に響く道徳教育推進事業の2年間の地域指定を受け、本校では、体験活動と道徳の時間の関連を図りながら、次のような実践研究に取り組みました。

1 体験活動と道徳の時間の関連

各教科、特別活動及び総合的な学習の時間など学校教育全体の場でどのような体験活動を実施することができるかを計画し、それぞれの体験活動と道徳の時間について関連表にまとめました。その結果、各学年における重点目標に関わる重点内容を深めながら活動できるようになりました。



役割演技で主人公の気持ちを考える子どもたち

2 ゲストティチャーの活用

道徳の時間や総合的な学習の時間に地域の方にゲストティチャーとして参加していただくことにより、児童が興味を持ってより深く考えたり、感動したりする姿が見られました。

3 地域との連携

「心の教育地域推進委員会」の開催や道徳だよりの発行などを通して、家庭や地域とのつながりが深くなり、地域の中で子どもたちを心豊かに育てていこうという意識が高まりました。



稲刈りをする子どもたち

学校教育相談事業だより

特別支援教育 巡回相談の活用を！

今年度の会津地区における巡回相談件数は、12月末現在225件となっています。

支援対象者の問題別状況は、図のとおりです。

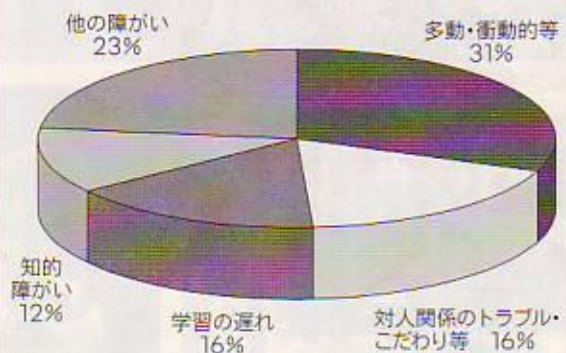
- 多動や衝動的な行動の多い児童生徒への対応は、得意な分野を伸ばすなどして、自己評価を下げないようにさせること。
- 対人関係のトラブルやこだわりの多い児童生徒に対しては、視覚を活用した丁寧な指示や、社会生活上必要なスキルの学習を進めること。などを基本とした指導を心がけてください。

今後も、巡回相談を活用し、適切な指導や校内支援体制の確立を図ってください。

※ 巡回相談の申し込みは、下記電話番号へお願いします。

「支援対象者の問題別状況(会津管内)」

(平成17年12月現在)



☎0242-29-5486 または 0120-899-714(フリーダイヤル)

お知らせ 学校教育指導委員の実践事例集で授業の活性化を

県指名の学校教育指導委員のみなさんの実践事例集を発行しました。指導委員の皆さんがそれぞれの教科や領域で取り組んできた実践が紹介されています。授業をはじめ、各種教育活動の充実のために活用してください。

【掲載内容】

各教科〈音楽、図画工作(美術)、技術、家庭)、道徳、特別活動、特別支援教育、生徒指導、学校体育、学校保健





## 心に残る人々

会津美里町教育委員会教育長  
新國正明

「私の教員生活のスタートは、昭和37年只見中学校であった。3月、雪崩を心配しながら着いた校舎は雪の中、でも迎えてくださった先生方はなんとあたたかかったことか、ほっとした。

柔和なメガネのK先生の右手人差し指には鉄筆のタコがあり、その手から生み出されるロウ原紙の文字・絵は芸術作品で、国語担当のその先生は「本が1万冊貯まるまでは結婚しない」と宣言し、下宿の二階が抜けなかと職員室の先生方は心配した。

その後「ボーナスは本屋の支払いに使うくらいでなければ教師失格だ」の言葉に、影響されやすい私は無理して、月1冊の割で発刊される平凡社の百科事典を注文、続いて隔月発刊の書道全集を注文し、毎月の給料日には田島の本屋さんへ喜ばれた。利用もしたが、40年経った今も背表紙に虫食いの勲章を付けて本棚の最下段に鎮座ましましています。

それにしてもK先生から発せられるなんとも豊かな意表をつく言葉の面白さには笑われ、心をゆさぶられた。授業は当然に、深い教材解釈に裏打ちされ、生徒にとって正しく魅力溢れるものであった。無限に広がる本の世界、今、IT社会と言われる時代だからこそ活字文化をまずしっかり体験させたいと、その時々、先生が思い出される。

今、K先生は、どんな本をお読みだろうか？

## 地域に学ぶ

会津藩を支えた繁栄の証

## 「軽井沢銀山溶解炉の大煙突」

柳津町教育委員会

町役場より東南方へ約9kmほど、銀山峠の東斜面に高さ25メートルの赤レンガ煙突が見えます。

永禄元年(1558年)、地元軽井沢の松本左文治によって発見された「軽井沢銀山」の栄華の跡です。この銀山が盛んな頃は、会津三代藩主松平正保の時代であり、日産30貫から40貫の銀の産出があり藩の運営にも大きく貢献しました。よい鉱脈にあたり、銀山の賑わいはかつてないもので、当時は従業員宿舎だけでも千軒余りもありました。

明治19年に建てられたこの煙突では、「オーガスチン工法」により溶解精錬がなされ、日産80貫の生産量を誇り、半田銀山に次ぐ名山として知られていました。その熱源として、周囲十里四方の山々の木々が切り倒され禿山になったと言われていました。

明治20年には、昼夜3交代制のため、湯八木沢の水力発電所からの電力でアーク灯をつけ、不夜城と化し、その明かりは会津盆地の各地から見え、見物客まで押し寄せたそうです。会津若松市に点灯したのは、明治34年と言われていることから、その驚きは大変なものであったことでしょう。

しかし、この銀山の盛衰の歴史は、労働者の多く

が農夫だったことから、大飢饉との歴史であり、慶長年間の大飢饉や天明の大飢饉などにより幾度となく休山を繰り返しました。

しかし、膨大な資金を投資し近代化したこの鉱山も、銀価格の大暴落により明治29年には銀の採鉱が中止となりました。その後、昭和58年頃、再開発に向けて作業が行われましたが、本格的な再開には至りませんでした。

今、この地に立ち当時はを偲ばせてくれるのは、天にそびえる、この煙突とずり山だけです。



軽井沢銀山溶解炉の大煙突



# 私の抱負

高校



会津学鳳高校 教諭 高木 靖

未知の世界の扉を開けるような、期待と不安が交錯する中で学鳳の門をくぐってから10ヶ月。中学校での経験を生かした指導とはどうあるべきかを考えながら英語の指導や生徒指導に取り組んでいます。

特に、新入生が高校の英語で最初に戸惑いを感じる2つの変化（1単位時間で扱う語彙数の大幅な増加と文法指導にかける比重の違い）に対して、彼らと同じ目線でその解決を手助けしながら、活動量の多い授業を工夫していきたいと思っています。また本校では、個別指導がよく行われています。その様子に感動するとともに、私も積極的に関わっていこうと考えています。

中高一貫校開設の準備など、今年もやるべきことがたくさんあり、毎日が新鮮で充実したものになるだろうと期待しています。

中学校



会津若松市立第一中学校 教諭 野中 齊

〇高校から中学校へ異動して早10ヶ月が経ちました。元気で人懐っこい生徒たちや、いつも親切にサポートして下さる職場の皆様のお陰で大変充実した毎日を送っています。

特に教科指導においては、一から英語を教えることの楽しさを体験できたり、中一から高三までの英語を系統立てて授業を考えるようになったりと、以前より広い視野を身につけることができました。

中学校は高校よりも生徒間の学力差が大きく、『話す・聞く』に比べ『書く』力が弱いと感じています。今後は、個に応じた指導やライティング能力を向上させる指導について研究を深め、さらに、中高の英語教育においてより良い連携が図れるよう研修を充実させていきたいと思っています。

小学校



会津若松市立城北小学校 教諭 山口 功

研修交流派遣で中学校より小学校に赴任して早、10ヶ月が過ぎようとしています。目を輝かせ、学習に遊びに元気に取り組む城北っ子とエネルギー溢る先生方の中で、私はと言えば……正直一日一日を何とか乗り越えてきたという感じでした。

力のなさを感じつつ、各教科の教材研究、子どもたちに寄り添った児童理解とそれに基づいたきめ細かな指導など小学校の現場を経験して改めて学ばせていただいています。

このような私ですが、子どもたちが抵抗やつまずき（中1プロブレム）なくスムーズに中学校に適応し、伸び伸びと自己実現が図れる小中連携の一助となれるよう、「自ら自分を磨く」城北魂で実践を積み重ね、力をつけて戻れるようにしたいと思います。

## 作品と指導

習字

『ふれあい』

六年 日下智裕  
あふ  
いれ

磐梯町立磐梯第三小学校  
6年 日下智裕

行の中心を意識させながら、ひらがなの筆使いを指導しました。特に、軽い始筆、線の丸みを理解させ、練習させました。また、「はね」のある文字は、筆脈を考えさせ、「はね」の方向にも注意させました。本作品は、筆使いよく書けました。

指導者 目黒 智子

工作

『すいぞくかんがったバッグ』



会津美里町立高田小学校  
2年 鈴木友茄

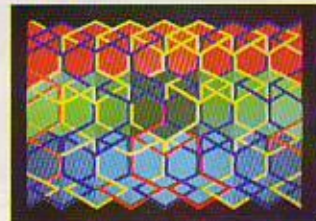
大好きな水族館をバッグに入れて持ち歩きたい、という友茄さんの思いを大切に指導にあたりました。

バッグのふたを開けると、ビニルテープの青い海の中を、色とりどりの魚たちが楽しそうに泳いでいる夢の空間が表現されました。

指導者 佐藤 信野

平面デザイン

『脱出』



北塩原村立裏磐梯中学校  
3年 小滝 唯

リピテーションを基本として構成した作品です。作者は輪郭の色を微妙に変化させ、だまし絵的な要素も作品の中から感じ取れるように工夫を凝らしています。色調の変化による形のおもしろさに努力の跡が見られます。

指導者 長沼 貞子